しずくいし 議会だより

No. 102
2017.7
編集／議会広報編集特別委員会
発行／岩手県雫石町議会

●今号の主な内容

6月定例会…2
町政を問う
一般質問 7議員が質問…6
在京町友会に参加して …14
常任委員会報告 …15
ふるさとへの便り（68）…19
●今号の表紙／まちの笑顔シリーズ
「雫石町柔道スポーツ少年団」…20

６月定例会のあらまし

３常任委員会を2つに、議会広報編集特別委員会を常任委員会に改正

総務と産業建設を「総務産業」に、「教育民生」はそのまま、議会広報編集は「広報広聴」に

平成29年６月定例会は、６月２日から６月12日までの11日間の会期で行われました。

本定例会では報告５件、承認２件、条例２件、同意案件２件、予算１件、契約１件、請願、陳情各１件等を審議しました。

その結果については５ページの議決結果一覧表をご参照ください。一般質問は、7名が登壇し、町当局の考えをただしました。

■雫石町議会委員会条例の一部改正

平成27年７月の町議会議員選挙から定員16人となり（現在欠員１人）、総務、産業建設、教育民生常任委員会は、それぞれ５人で構成されていました。しかし、やむを得ない事由により1、２人欠席した場合、3、４人で委員会を開催することになり、幅広い審議が難しくなる等の問題が発生します。そこで、今回次のような改正をし、８月４日から施行します。

旧	
委員会名	構成人員（人）
総務常任委員会	６
産業建設常任委員会	５
教育民生常任委員会	５
議会広報編集特別委員会	７（各常任委員会から２人、議長推薦１人）

➡

新	
常任委員会名	構成人員（人）
総務産業常任委員会	８
教育民生常任委員会	８
広報広聴常任委員会	７（定員変わらず、総務産業と教育民生からそれぞれ３人、議長推薦１人）

平成29年度一般会計補正予算

○一般会計補正予算（第１号）

補正前の額	補正額	計
91億４千万円	１億3,916万９千円	92億7,916万９千円

主な予算内訳

▶農産物生産振興対策事業　5,477万６千円
▶観光交流推進事業　1,501万３千円
▶学校施設整備事業　3,890万２千円
学校施設整備事業の内、小中学校のトイレの洋式化促進予算　約3,800万円

【特記事項】

公立小中学校のトイレの洋式化促進予算　約3,800万円

議員全員協議会の説明で、洋式化率は28年６月に16.5%で県内最下位（男子小便器を和便器に加えたためでこれを除けば27.6%となる）と言うことであった。

〈今後の取り組み〉

予定時期	学　校　名	改修後の洋式化率
29年度	中学校エコスクール改修	34.6%
29年度	下長山、御明神小学校改修	52%
30年度	雫石、七ツ森、御所小学校改修	90%超

新築した雫石中学校武道場も、洋式トイレに

陳情

件　名	国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める陳情書
提出者の住所および氏名	盛岡市紺屋町7-26 盛岡公共職業安定所内 岩手県国家公務関連労働組合共闘会議 議長　岩崎　保
審査結果	**【趣旨採択】**公務・公共サービスの拡充を求める趣旨を採択する。

副議長の不信任決議案を可決

上野三四二議員から、石亀貢議員、村田厚生議員、谷地善和議員、杉澤敏明議員、横手寿明議員、堂前義信議員の賛同を得て、副議長の不信任案の動議が提出されました。上野三四二議員は提案理由として、①副議長にあるまじき不穏当な言動が多く、注意喚起してきたが一向に反省が見られない、②政治的主張にこだわり、副議長選挙立候補の際に公約した中立性、公平性を欠いている、③議決を批判するなど、議長を代行する資質を欠いている、と説明。採決の結果、賛成多数で可決されました。

■反対討論（要旨）

●大村昭東議員

議会における各役職についている議員の不信任案を会議にかけ審議するためには、それ相応の客観的な理由がなければならない。上程理由は全く客観性に欠け、町政にも悪影響を及ぼすと考え反対する。

●岩持清美議員

何ら法的根拠もないし、重大な過失もなかった。人事権に関する問題なので法に違反しているとか、議会の条例に違反しているといったしっかりとした提案理由があるべきだが、感情だけに流されて提案していると感じ反対する。

※他に川口一男議員、山崎留美子議員が反対討論した。

人事

・雫石町監査委員の選任に同意
枇杷（びわ）　恵（さとし）氏（70歳・上町一・二行政区）
任期：平成29年７月１日～
平成33年７月１日（４年・再任）

・雫石町固定資産評価委員会委員の選任に同意
佐々木（ささき）　繁光（しげみつ）氏（64歳・七ツ森行政区）
任期：平成29年７月５日～
平成32年７月４日（３年・再任）

・滝沢・雫石環境組合議会議員の選挙結果
堂前（どうぜん）　義信（よしのぶ）　議員（58歳・野中行政区）
任期：組合議会承認の日～
平成31年７月30日

6月定例会のあらまし

請願

件　　名	県道雫石東八幡平線の道路整備を求める請願
提出者の住所および氏名	雫石町長山芦谷地64-2 松原　久美
審査結果	【採択、意見書を提出】６年前に東日本大震災が起き、観光客の入込状況は、沿岸部はもとより内陸も含めた被災地東北は、低迷している。この閉塞的な状況を打開し、岩手県、岩手山周辺の観光振興に寄与するためにも、先人の道路開通による地域発展の思いを実現すべく、道路の工事を再開し、開通させることを要望する。

■反対討論（要旨）

●西田征洋議員

極端な通過型となり滞在型とならない、車の排ガスによる害が増え立ち木が枯れる可能性が強いことと、トンネルに莫大な金がかかり、費用対効果が否定された経過があること等から反対する。

●山崎留美子議員

これまでも各自然保護団体との意見交換を行い、岩手県は平成13年、原生林保護の重視から、４キロ手前でマイカー規制を行う発表をした。今整備を求めることは振り出しに戻ることになる。今は開発から保全にシフトし、本来あるべき生態系を極力壊さないよう環境保護に力点がおかれていること等から反対する。

平成29年 第6回臨時会

７月４日第６回臨時会において、報告１件、議案１件のあと、大村議員から議案の提出があり、審議しました。

監査請求に関する決議案を可決

【決議案要旨】

１．監査を求める事項

（1）町有地を活用した生涯活躍のまち推進に資する多世代交流拠点施設整備事業「設計・施工一括発注プロポーザル」における業者選定過程が不明瞭で、不公平な選定という疑義がある。以下を明らかに。

①プロポーザル参加業者２者の詳細審査項目と採点結果

②受注者Ｋは、プロポーザル公告、実施要項の失格要件や無効要件等に該当する事項が多々あると見受けられるが、審査結果が優先交渉権者となった根拠は。

（2）受注者Ｋの会社概要では、従業員数は７名で、技術者数２名、大工３名、事務員２名だが、実施要項等で要求している各種資格を誰が有しているのか。

（3）工事見積金額の根拠を明らかに。

２．監査結果の報告期限

平成29年８月24日

■賛成討論（要旨）

監査が必要であり賛成する。

●川口一男議員

発注者、審査委員長、まちづくり会社社長の三者すべて深谷町長であり、また、委員は全て職員という体制で進められた業者選定に疑問。

●西田征洋議員

以前、一般質問で総合評定値の問題※を指摘したが710点でとおされた。

（※「プロポーザル参加資格は経営規模等評価の総合評定値（P）700点以上。受注者は28年10月31日基準日のP値が690点であるのに、既に消滅している710点を記載している。」と指摘した。）

●山崎留美子議員

審査資料の開示請求をしたが、肝心の箇所は黒塗りで審査結果が正しかったかの根拠が示されず。

平成29年第5回雫石町議会6月定例会　議決結果等一覧　会期：6月2日(金)～6月12日(月)

議案等番号	件名＼議員名	堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤眞純	採決結果
承認第1号	雫石町税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第2号	平成28年度雫石町一般会計補正予算（第10号）の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第1号	雫石町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	平成29年度雫石町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	町立雫石中学校スーパーエコスクール改修等工事（第Ⅰ期）の請負契約の変更に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意第1号	監査委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第2号	雫石町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議第1号	雫石町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号	県道雫石東八幡平線の道路整備を求める意見書の提出について	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
動議	副議長不信任決議案	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	●	退	可決

平成29年第7回雫石町議会臨時会　議決結果等一覧　会期：7月4日(火)

議案等番号	件名＼議員名	堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤眞純	採決結果
議案第1号	町立雫石中学校スーパーエコスクール改修等工事（第Ⅱ期）の請負契約に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
追加議案	監査請求に関する決議案	○	○	○	○	退	○	○	●	●	○	○	●	退	○	可決

○…賛成、●…反対、退…退席　※前田議長は採決には加わりません。

６月定例会

一般質問 町政を問う 7議員が質問

	質問者	質問内容	掲載頁
	やまざきるみこ 山崎留美子議員	学童保育の今後、どう変わる	7
	すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	下水道事業鴛宿幹線の進捗状況は	8
	うわのみよじ 上野三四二議員	公共施設管理計画と財政計画は	9
	にしだまさひろ 西田征洋議員	就学援助の入学前支給は	10
	いわもちきよみ 岩持清美議員	町有地 14 ヘクタール開発計画提出時期は	11
	いしがめ　みつぎ 石亀　貢議員	公共施設の総合的管理は	12
	おおむらしょうとう 大村昭東議員	参加資格調書、虚偽記載では	13

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

議会傍聴においでください

次の定例会は、９月１日(金) 午前 10 時開会（予定）です。
インターネットでもご覧になれます。
雫石町役場ホームページまたは、下記のアドレスからご覧ください。

公開用 URL　http://smart.discussvision.net/smart/shizukuishi/

学童保育の今後、どう変わる

町長／既存施設の改修等、取り組む

南畑には「コテージ村」、町有地14ヘクタールが「七ツ森ヴィレッジ」…カタカナにすると雰囲気が違うなぁ。

問　御明神と西山地区の小学校統合は来年と決まったが、学童のスペースは厚生労働省のガイドラインによると、利用児童１人当たりの面積は1,65㎡以上が望ましいとある。今のままのスペースでは変動が生じ、運営が困難となる可能性がある。どう組み立てていくのか。

町長　御明神と橋場小学校においては、御明神小学校の空き教室を活用していくが、西山地区の放課後児童クラブは、利用児童数が増加し、下長山小学校の既存施設の活用は困難だ。保護者や西山地区小学校統合準備委員会等の方たちの意見を参考に早急に方針を定め、施設の改修等取り組んでいく。

問　現在の児童クラブにはトイレも手洗いもない。子ども総合プランに基づく学校敷地内創設の場合の国庫補助があるが、検討はしたのか。

総合福祉課長　統合が決まったのが今年度になってからだった。国の補助事業に該当するかどうかはいま、協議している。トイレの件も踏まえて施設については結論を出し、整備していきたい。

住民への説明会開催は

問　町有地14ヘクタールの活用計画について、野村総合研究所の分析結果が出次第、町民への説明会を開催すると昨年12月に話しているが、すでに半年経過した。いつの予定か。

企画財政課長　プロジェクトは、いま進める段階に来ており周知に努めると話してきたが、説明する内容があれば今後も広報を通じて説明していきたい。

問　事業は大なり小なり最初から黒字ということは難しいが、資金供給が上手く行かない場合は問題になる。まちづくり会社の社長でもある町長は、損失補填や債務保証はしないという覚え書きは交わしているのか。

町長　覚え書きは交わしていない。

放課後児童の「居場所」

下水道事業鴛宿幹線の進捗（ちょく）状況は

町長／片子沢地区は来年度一部供用開始

ようやく鴛宿温泉までの下水道の完成が見えてきた。計画通り進むことを切に望む。

問　北上川上流流域下水道事業鴛宿幹線の整備計画に対する進捗状況は。また、町がこの幹線整備に連動して整備する各処理分区の施工計画はどうなっているのか。

町長　県整備の鴛宿幹線は、平成15年度に繋地区で事業着手して以来、桝沢橋までの全体計画延長7.7キロメートルのうち、平成28年度末までに4.9キロメートル（進捗率64%）整備済となっている。県では、桝沢橋まで平成36年度末をめどに整備するとしている。

片子沢処理分区は、平成30年4月から一部供用開始（全部供用開始は平成32年度）をする計画で整備中である。鴛宿処理分区については、平成32年度に工事着手する予定である。

地区公民館等の地域づくり拠点化

問　雫石町行政改革実施計画（平成29年度から31年度）の中に、「地区公民館等の地域づくり拠点化の検討」とあるが、この具体的内容はどのようなものか。

町長　小さな拠点や地域運営組織の形成に向け、地区公民館をコミュニティセンターとし、住民の自主的な活動を行える場として、将来的に地域で管理運営できるようにしたい。地区担当職員の配置など、地域づくり拠点化と推進体制について検討していくものである。

雫石十四景・矢櫃の渓流の見どころは

問　矢櫃の渓流は、写真の場所も、渓流の見どころも分からないので、説明板が必要。

町長　矢櫃川上流部のつぼけの滝をはじめ、林平地内、芦ケ平地内に広がる矢櫃川対岸の岩肌と木々のコントラストや紅葉が絶景であり、矢櫃渓流全体のすばらしさが評価されたものである。7月末の完成を目指し、矢櫃渓流の見どころなどを紹介する説明文と写真、位置図を配した案内板を整備する。

矢櫃の渓流（林平地区）

公共施設管理計画と財政計画は

町長／長期的視点で対応

雫石は広い。町道延長886㎞、橋梁264箇所、水道265㎞、下水道141㎞、人口割で全国平均の約2倍、インフラ整備、金がかかるねえ…。

問　道路、橋梁、上下水道等インフラ管理に、2055年までの40年間で1,111億円（年間27.8億円）かかる。これに対し財政見通し8.9億円で年18.9億円不足が生ずる推測値がある。しかも、ここ10年は建設系施設など更新期にある。また、新しく町民要請の整備も加わることもあり、財政負担両面の調整が必要と思うが、どう改善していく考えか。

町長　町が保有する建築物系施設や道路、橋梁、上下水道等のインフラ施設は、大規模改修や建て替え等で更新が集中し費用が大幅に必要となる年があるため、施設の長寿命化を行い、老朽化、低利用施設の廃止、規模縮小、除却を行う必要もある。また、民間活用等管理運営の見直し、受益者負担の適正化を図っていく。財政運営においては、投資的経費に上限を設定するなど、更に更新費用を見込んだ基金造成、超長期債の活用による将来負担の平準化の検討など、長期的な視点で対応していく。

地域づくりの実践は

問　地域づくりは、地区地域の自主的であるとはいえ、財源もなく人材不足、組織も弱体と希薄化の現況である。町が責任を持って財政支援、人材支援するなど、町行政と一体化した実践活動であるべきと思うが、町長の考えはどうか。

町長　町内の中間支援団体を育成し、細かいサポートが出来る体制にし、実践活動チームごとにNPO法人まちサポ雫石に業務委託で支援していく。財政的な支援体制を明確にするために（仮称）雫石町まちづくり協働推進条例の制定を考えている。

整備が進む下水道

質問者／西田征洋（にしだまさひろ） 議員

就学援助の入学前支給は

教育委員長／30年度の入学前には支給したい

小学校入学前の就学準備金、早期支給もやってほしいですネ。

問　就学援助は、国の制度として恵まれない家庭の子どもに必要な援助を行うもので、入学準備金として小中学校入学時に支給するものもあり、政府も必要を認めて、補助金を増やすことになった。岩手県内でも小中学校入学前に前倒しで支給する市町村も出てきた。雫石町でも入学前支給をして、経済的な負担を軽減することはできると思うがどうか。

教育委員長　来年度から当町でも中学校入学時に保護者への入学前の就学援助の支給をしていきたい。小学校１年への入学前支給も速やかに実施できるよう検討したい。

事業参加資格に疑義あり —多世代交流拠点施設整備事業

問　生涯活躍のまち推進に資する多世代交流拠点施設整備事業での受注企業は、経営審査の総合点数が直近のものでは合格点に達していないので参加資格がなかったのでは。

町長　事業への参加時点では、資格要件を満たしており、経審総合点数は710点であって参加できるものと判断したものだ。

ごみ処理の広域化は

問　盛岡広域のゴミ処理を１ヶ所に集約するやり方をどう思うか。

町長　集約化により費用の節約につながり、処理能力に余裕が出るメリットはあるが、収集運搬の距離が長くなったり、搬入車両台数が多くなったりするデメリットも考えられる。

問　雫石町には、環境保全条例を制定する用意があるというが、それに則って独自のゴミ処理の方針を策定すべきでは。

町長　排出抑制、再使用、再利用（3R）を推進し、新たに一般廃棄物処理基本計画を策定していきたい。

いわて3R推進ガイドブックより

町有地14ヘクタール開発計画提出時期は

町長／入居者を確定後

国会での共謀罪の成立の仕方、雫石町議会での副議長の不信任。数の論理で口封じ。

問　町長は、昨年、開発計画提出時期を5度も延期している。3月定例会では、5月中に提出すると答えていたが提出されていない。いつ出すか。

町長　5月に申請を行なう予定として説明していたが、現在、安心して最後まで暮らせる仕組みをつくる会を立ち上げ、入居者参加型の住まいづくりに取り組んでいる。今後の見通しとしては、9月末に入居者を確定後に開発申請を行ない、翌年度、工事に着手できるよう取り組む。

問　企画財政課長は、10人、20人とまとまったら、開発計画を出すと、山崎議員の質問に答えているが、間違いないか。

企画財政課長　入居者の募集を東京など中心に進めているが、今は数名の段階。10名、20名と入居者がそろったら、具体的整備を進める。

問　入居者がまとまらないと事業は行なわないということか。

企画財政課長　10名、20名そろわないことは想定していない。事業は必ず実施する。

修繕費合計約 8,465 万円

問　JA新いわて総代会資料では、アグリリサイクルセンター収支差額1,296万円余の赤字とある。現在、機械は故障中とのことだが、今までに町が支出した修理費の合計はいくらか。また、今後の営業方針は。

町長　平成16年11月に運用開始から、平成28年度までの町が支出した修繕費用は、約8,465万円、備品更新等は、約5,580万円である。センターに搬入されるふん尿の量は、大きく減少していないので家畜排泄物適正処理中核施設として、また、地域資源循環型農業推進のため適正な運営に努める。

ふるさと納税改善点は

問　総務省は、ふるさと納税で返礼品の調達額を寄附額の3割を上限を目安とし、家電や商品券、資産性のあるものなどの取りやめを通知したと報道されているが、変更した内容と今後の見通しは。

町長　雫石応援寄附金の返礼は、資産性の高い返礼品は送付しないこと。返礼割合を3割以下とするよう6月下旬をめどに新たな返礼品とするよう進めている。

■他にこんな質問もしました
・一般職の非常勤職員に期末手当を支給できる自治法の改正について

公共施設の総合的管理は

町長／38年度までを計画期間と策定

公共施設等の適正管理を推進するため事業実施に財源確保が必要だ。

問　総務省では公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化など公共施設の最適な配置を実現する必要から、26年4月に公共施設等総合管理計画の策定、指針を示しているが、本町の策定状況は。

町長　本町の公共施設は1971年から1986年間に急増し、古い耐震基準の建築物は全体の4割、学校施設以外は耐震診断を含めた対策が必要。今後、大規模回収、建て替えに要する費用は40年間で約751億6千万円と推計する。耐用年数が集中する2037年から2046年に財政負担が重くなる。民間活用等管理運営の見直し、受益者負担の適正化も必要と考えている。また、今年度中に施設分野の個別計画を策定、施設ごとに整備方針、改修、改築を具体的に策定する。

問　総務省で複式簿記、固定資産台帳の整備を前提とした財務諸表の作成を要請するとしているが、本町では固定資産台帳の整備はどうか。

企画財政課長　27年度各課ヒアリング、全庁説明会開催、固定資産台帳は整備している。今年度から28年度決算をもとに新地方公会計の作成を進める。

舗装道路の管理保全は

問　町道の舗装率は51％まで進捗（ちょく）されているが道路上に穴も見受けられる。管理保全体制はどうか。

町長　年度当初に路面補修工事発注、車輌通行の多い補修工事を優先、隔週で道路パトロールに加え、補修の必要な箇所は簡易補修を行っている。

スピード化が求められる道路補修

参加資格調書、虚偽記載では

町長／違法とは全く考えていない

建築B級業者
請負契約限度
3千万円
受注者C級
1億1、750万円
工事契約不可
建設業法違反だ。

問　多世代交流拠点施設整備事業の建築工事受注業者について、建築業法の特定建設業の許可要件などをどう確認したのか。

町長　関係法令、関係図書で確認した。今後下請調書を確認し適正な施工に取り組む。

問　建設業法第26条で、建築一式7千万円以上の工事では、経営業務の管理責任者は、現場主任技術者・監理技術者と兼務できないが、参加資格確認調書に代表取締役を配置している。虚偽記載ではないか。しかもこの方は監理技術者資格を「無」と記載している。審査会で満点の5点としたのはどうしてか。

町長　違法とは全く考えていない。

問　プロポーザル実施要項要求水準書によれば、一級建築士2名体制を指示しているが、受注者には一級建築士はひとりもいない。どう確認し配点で満点の5点としたのか。

企画財政課長　一級建築士が協力参加した。

問　協力者は構成員でない。建築、電気設備、機械設備に対しても一級の資格を求めているが、受注者の評価結果通知書には、その技術者の記載なし。なぜ満点の5点か。

企画財政課長　その資料が提出されている。

問　おかしく思わないのか。そういうことを拡大解釈し審査するのか。

企画財政課長　委託することも可とした。

問　県に届けている項目には空欄となっている。受注者の総合評価値を県で確認したが、直近の総合評価値は「690点」であった。受注者は参加資格調書に「710点」と記載している。虚偽記載ではないか。格付けはC級となっている。C級の受注限度額は1,500万円である。これを十分に審査しないで、臨時議会に議案上程し議決させたのか。

企画財政課長　28年度の発注なので、B級相当で取り進めた。

問　採用された案はかなり具体的で、提出書類作成要領を逸脱した提案となっている。公平の競争原理から見て過度な内容であり、比較対照とする提案でない。どう審査したのか。

企画財政課長　特に逸脱しているとは考えていない。

■他にこんな質問もしました

- 農村社会の超高齢化対策について
- 早稲田大学との共同研究のまちづくり評価について
- 委託金・補助金・交付金事業の不適切会計処理について

第39回 在京雫石町友会主催の交流会に参加して

今年の町友会は、６月 17 日(土)に東京都のホテルラングウッド（JR 日暮里駅東側）を会場に 11 時から総会が開催されました。

正午からの交流会に参加するため、雫石町からは町長や副町長、教育長、上下水道課長、学校教育課長、総務課長と担当主査、前田議長、大村・村田・谷地・川口の各議員と松原町観光協会理事長ほか総勢 18 名が、雫石駅から朝の新幹線で東京に駆けつけました。

階衆議院議員やハクセル県議、郷土芸能関係の中川愛子さん・福田キヌエさん・山上衛さん、土橋商工会長、国土交通省に派遣中の総務課付谷藤崇主事も会場で合流しました。

今年からということで交流会には、東京盛岡ふるさと会、滝沢ふるさと会、八幡平ふるさと会、葛巻ふるさと会、ふるさと矢巾会、雫石高校同窓会東京支部の参加もありました。

会員の出席は 57 名で来賓を含めた総勢 84 名が雫石談議や郷土芸能、写真撮影等で旧交を温めるまたとない機会になりました。

交流会終了後、浅草２丁目に平成 27 年 12 月にオープンした「まるごとにっぽん」を視察しました。

「まるごとにっぽん」は、１階がにっぽんの食が並ぶ食品フロア（にっぽん食市場楽市)、２階が生活の知恵が詰まったフロア(くらしの道具街和楽)、３階が日本全国の知られざるまちの魅力が体験できるフロア（たいけん広場浅草にっぽん区)、４階が地方のごちそうが集うフロア（ふるさと食堂街緑道）となっており浅草にまた一つ観光名所ができた感じがします。

（谷地善和 議員）

あいさつする前田議長

雫石からの郷土芸能披露

４地区ごとの記念の一コマ

総務常任委員会

〔杉澤敏明委員長〕

調査
廃校利活用

五城目町地域活性化支援センター

4月13日、閉会中の事務調査として五城目町を訪ね、廃校舎を利活用している先進事例について視察調査を行いました。

五城目町は、秋田県の中央部、八郎潟の東部に位置する農業と林業の町です。中心部には500年の伝統を誇る朝市が栄え、製材、家具、建具、打刃物、醸造業などの商店街が発達し、職人産業が息づく商工の町でもあります。

面積は、214.94平方キロメートル。人口は、9,719人（平成29年3月31日現在）で、ピーク時（昭和35年）の20,025人の半数以下となっています。長期間、恒常的に人口減少が続いており、小学校も平成14年度までは6校ありましたが、15年度以降、閉校が続き、27年度からは1校のみとなっています。閉校となった5校のうち、建築年数の古い校舎は解体されましたが、未だ使える校舎については、有効活用することが課題となっていました。

このため、25年3月に廃校となった馬場目小学校の所管をまちづくり課に移し、活用策を検討しています。この学校をそのまま活用（改修費はITの配線工事費2,000万円のみ）することとし、地域活性化のエネルギーをつくり出す拠点として、企業のオフィスや、町のコミュニティ活動を行う事業者などを支援する五城目町地域活性化支援センターとして25年10月にオープンしています。

五城目町は、昭和60年以降、東京都千代田区と交流友好関係にあり、平成元年には姉妹都市提携、24年には東京事務所を開設するなど自治体相互の助け合いや住民たちの交流が深まっていました。まちづくり課では、こうした縁を大切にして、千代田区から創業する実業家を探し、移住にこぎつけています。

その後は、これからの先駆的移住実業家からの情報発信やネットによる先進事例紹介などにより、新たな企業家の入居や事業所の移転がなされ、オープンして4年目を迎えた現在は、13社の移住実業家や地元企業が入居[※1]しています。

支援センターは、単なる仕事場ではなく、さまざまな業種、個性を持つ人たちが交流し、ときには一緒に仕事をし、刺激しあえる場として利用されています。

また、地域おこし協力隊の活動拠点にもなっていて、一般にも公開されるセミナーやイベント、地域交流の基点としても親しまれています。

※1　事業支援棟、事業支援室、シェアオフィス長期使用料（1か月あたり）

区　分	単位	金額	摘要
事業支援棟	1棟	30,000円	1社入居済
事業支援室	1室	20,000円	18室中11室入居済
シェアオフィス	1人	7,000円	2人入居済

旧馬場目小、現通称「BABAME BASE（ババメベース）」

木のぬくもりが感じられる室内

教育民生常任委員会

〔山崎留美子委員長〕

調査①

待機児童の状況　保育士確保、続けて努力

4月1日段階での待機児童数は26名、特に0歳児と1歳児が多く、国が定める保育士の配置基準があることから、保育士不足が生じています。

総合福祉課からは一例として、鳥取県で行っている在宅支援策の話がありました。0歳児を対象に3万円支給、そのうち1万5千円は市町村が出すということですが、県に申請した自治体が行うということでした。

委員から、保育補助や保育士採用についての質問には、保育補助は町内で2名、また、 採用については、子どもの数は今がピークで、数年後にさらに減少した場合、預ける側と受け入れ側がマッチしなくなることも考えられることから、慎重にならざるをえない状況などの説明がありました。引き続き、保育士確保に向けて努力をすることを求めました。

深刻化する保育士不足で児童はどこへ

調査②

公立小中学校のトイレ洋式化　トイレ大規模改修に着手

文部科学省が昨年11月に公表した、公立小中学校におけるトイレの洋式化率は16.5%と県内最下位の当町でしたが、29年、30年度にかけて大規模改修に取り組むこととしています。

今年度は約3,800万円かけ、下長山と御明神小学校を、来年度は雫石、七ツ森そして御所小学校のトイレを洋式化にすることの説明がありました。財源については、国に提出した建築計画が採択されると、かかる経費のうち、補助金3分の1が受けられることとしています。

31年度末までには、洋式化率が90%程度まで上がることが予測されますが、早急に改修工事に着手するよう求めました。

洋式化が進む学校のトイレ

産業建設常任委員会

〔岩持清美委員長〕

調査①

町有林等状況調査　間伐が必要

4月27日、町内産材の利用状況調査の一環として、御所地区町有林2ヶ所、薪生産事業者、雫石診療所チップボイラーの現況調査を行いました。

町有林の調査は、昨年から継続して行なっているもので、すでに七ツ森（183.6ha）上野沢（84.7ha）、志戸前（1,034ha）、御明神財産区有林（2,200ha）、鶯宿男助山（89.6ha）は調査済みで、今年度は女助山（167.8ha）、矢櫃山（12.6ha）の現地と植林等の状況を担当者案内のもと調査しました。

女助山町有林は、大村から外桝沢までの広範囲に及び、人工林92%（内訳は、スギ35%、カラマツ55%、アカマツ10%）、天然林8%です。雫石では大変貴重なヒバの植林地（1ha）や樹齢50年生間伐適齢地の杉など調査しました。

矢櫃山は、人工林57%で他は天然林。カラマツが43%植えられているものの、ほとんど手が入っていませんでしたし、沢、道路も崩壊の跡がありました。雫石・紫波線の整備がもっと早ければと感じました。

次に矢櫃で薪を生産販売している広瀬林業と薪作り親方より、薪の生産状況の説明を受けました。材は岩手町産を仕入れ、ナラ物2年乾燥、1棚36,000円、配達料2,500円で販売しているが、インターネット等でも申し込みがあり、生産が追いつかないとのことでした。

雫石診療所のチップボイラーは、年間675㎥、消費税込単価4,428円で盛岡広域森林組合より購入しているが、西和賀産とのことでした。今回の調査で、町有林には伐期が近い材がある、木材の利用では、町産材でまとまって継続して材が手に入らない、製材所、チップ等生産施設がないなど再認識しました。

間伐が必要になっている杉林

調査②

堆肥センター修繕状況　修繕は完了し、フル稼働

6月9日、農林課、JA新岩手立ち会いのもと、故障した堆肥センター機械の修繕状況を調査しました。

2月に撹拌機（かくはんき）の駆動軸が折れ、4月にもう1台の撹拌機が故障しました。さらに5月上旬、ベルトコンベアーが故障しましたが、5月末ですべての修繕工事が終了し、すべての稼働を確認しました。

故障中は、堆肥処理能力が落ち、受け入れを抑制する必要が出た、さらに、堆肥の品質低下等があり、完成品が少なかったこともあり購入者にも迷惑をかけたとのことでした。今後は町と指定管理者JA新岩手が協議しながら、機械設備の定期的、計画的な更新を実施し、適正な運営をしていくとのことでした。

修繕が完了した撹拌機

声 議会へのひとこと
――皆さんの声を聞きました

諏訪（すわ）　泰幸（やすゆき）さん
（47歳・上町一行政区）

まちの活性化

「中心市街地の活性化」は全国の多くの市町村での課題と言われています。私も町内で商店を営んでいる者として、真剣に取り組んで行かなければならない課題だと思っています。雫石は軽トラ市をはじめとしたイベントや個性的なお店の新規オープンなども少なからずありますが、中心市街地の個々の商店が連携して何かを取り組む組織がないのが課題だと思っておりました。

この4月によしゃれ通り周辺の10店舗ほどの商店が中心になって中心市街地の活性化を考え、連携し推進する任意団体「よしゃれ通り周辺JV」を立ち上げました。8月からは毎月第3水曜日に「ツイ曜日」というイベントを開催し、お得な商品の提供や情報の発信、スタンプラリー等の企画も開催予定で取り組み始めています。

また今後はこのJVの参加の輪を広げて活性化に繋げられればと思います。各商店、地域住民の方々、行政、議会など各々が各々の目線でできることから一歩ずつはじめ、お互いが立場を尊重し連携していくことが大切なことだと思っています。そして「雫石はいつもなんか面白いことをやっていて、元気なまちだなぁ」と言われ続けるまちになって欲しいと思います。

※JVとは複数の異なる企業等が共同で事業を行う組織の略

小田（おだ）　弘輝（こうき）さん
（62歳・鶯宿行政区）

鶯宿温泉の観光振興を

私は、鶯宿で旅館を営んでおります。平成の初め旅館は36軒ありましたが、現在19軒となっております。近年、東日本大震災、豪雨災害、ケンジワールドの閉鎖等で更に厳しさを増しております。年々減ってはいますが、町の税収等で鶯宿温泉は大きな一翼を担っております。

町へのお願いは、観光振興を行う場合、総花的ではなく、優先順位を決めて政策を行って欲しいこと。

また、広域で連携して行うことは重要ですが、地域間で格差がある場合、不利益を受けます。ぜひ盛岡市で行っている観光施策を参考にして、同等の施策を行っていただきたい。そして、併せて町独自の政策を出せれば、素晴らしいと思います。例えば、いま南畑小学校跡地については、宿と連携し一体となった学生や企業のスポーツ文化の研修・練習施設等地域に合った活用案を出していただくことを期待します。

中野（なかの）　昭子（しょうこ）さん
（64歳・和野行政区）

日常の景色

今年の1月から3月まで、ウォーキングをしてみました。コースは国道46号線に出て、橋場方向を目指して進みますが、当然のごとくエンジン音を轟かせる自動車がひっきりなしに通ります。そして国道と平行するようにある田沢湖線に時折現れる秋田新幹線こまちの車体の赤が端正な形を引き立たせております。盛岡駅から東京駅を目指して走るこまちは全力疾走してさすがの本領発揮なのですが、このあたりを走る時は、悠然としてゆっくり走り、いかにも力を内に秘めているところが何ともカッコいいのです。

4月は田植えの準備をしなければならず、そのため一時ウォーキングの熱は冷めます。その後再開したのは、6月に入ってからで2ヶ月ぶりに同じ所を歩いてみました。木々の緑は濃くなり、名も知らない野草にピンク色の花が咲いております。歩道に白い花弁が一面に散らばり、芳しい香りが漂うのでつられるように見上げるとアカシアの白い花が房状に垂れ下がっており、大きく広げた枝それぞれの花房は圧巻です。

時々するウォーキングも悪くないなぁと思い、こんな自然豊かな雫石を守る町政に期待します。

思い出は岩手山とともに！　雫石に感謝！

ふるさとへの便り―68

在京雫石町友会 会員　鶴賀（つるが）　広行（ひろゆき）さん
（旧姓：村上）

私の生まれた場所は岩手山神社の近くで、晴れた朝は、家から雫石平野を見下ろし、駒ヶ岳から雫石スキー場、網張までの大パノラマが眺まれとても気持ち良い。

当時は岩手山登山道の途中にあたり岩手山の真下なので、鬼が城など外輪山を眺められたがお釜の頂上付近は見えなかった。今でこそ道路事情もよくなったが、当時は自然環境の厳しい地区だった。特に冬場の通学には除雪されていない道を自分の足で通うしかないので頑張って通学し、途中でウサギの足跡を見つけると罠を仕掛けておき、かかっているか楽しみに通った。家の庭でも罠を仕掛けてキジを獲ったりした。ただし、わんぱく坊主ではなく、おとなしい性格で自然のすきな子どもだったようだ。

中学校は統合の時期で３年から新校舎に入ったが、２クラスが急に７クラスになったので困惑と驚きだった。

高校時代のアルバイトでは、小岩井農場で働いていた父の手伝いで、樹木の伐採や皮剥ぎの作業をした。子どもの頃、岩手山神社での秋祭りで相撲をとった思い出があるが屋台や出店はないので、他の地区の祭りや盆踊りには自転車で、はしごして回った。

小学校、中学校では柔道をやり、高校では山岳部で活動し、インターハイに出場して尾瀬に行った。冬山岩手山合宿では吹雪で道に迷い危険な体験もしたし、高校の雪まつりを始めたのも自分たちの時で雪像作りのことなどなつかしい。

就職にあたり、叔父たちが大工をしていたのでその仕事に就く道もあったが、自分で独立できる環境を求めて上京した。時代はバブル期を迎えており、建築業関係は景気が良かった。上京した年、都会での生活でホームシックになり、初めての里帰りは５月の連休に新幹線で帰郷した。ふるさとの空気がこんなにうまく、岩手山神社の水もとてもおいしく感じた。我慢強く仕事を続けた結果、平成９年に念願だった独立をし、先輩と一緒に現在の会社を設立起業した。公共的な仕事が多く、国会議事堂、議長公邸、議員会館の修理、内装を経験した。

現在の趣味は登山で、月１回の山歩きを楽しんでおり、今年は山仲間をつれて岩手山の山開きにも挑戦する。ふるさとの家は兄（正行）が守っていてくれるので、雫石に帰る家があり、ありがたいと感謝している。路線バスの廃止で不便になったが、ふるさとには感謝しており、観光資源や自然は大切に守って欲しい。また幼い頃の思い出の遊び場だった玄武洞の崩落により柵が設置され折角の観光名所が寂しいと感じている。

雲取山登山

実家の家族

雪のパノラマ

昭和36年３月　極楽野行政区生まれ。上長山小学校－西山中学校（１・２年）―雫石中学校（３年）－雫石高校－三河建設（東京職業訓練学校で学ぶ）－愛三建設（取締役工事部長）。妻と長女と３人暮らし、家族での晩酌が楽しみ。東京都文京区白山在住。

雫石町へようこそ

お嫁さん　お婿さん

「いわての牛乳カップ岩手県大会」岩泉 にて

左から　夫の翔太（しょうた）さん（31 歳）
長男の渚月（なつき）くん（8 歳）
次男の琉星（りゅうせい）くん（4 歳）

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」

荒塚（あらつか）　千恵（ちえ）さん（31 歳　滝沢市出身）
（旧姓：千葉、野中行政区在住）

Q- お二人の馴れ初めは？
- 共通の友人の紹介です。

Q- 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？
- 雫石町にはスキー場、ゴルフ場、ホテル、温泉など多くのレジャー施設があり、とてもすごいと思います。また、医療費の現物支給や助成給付も、子育てが安心してできるので助かります。

Q- 町へ望むことは？
- 私の子どもは、西山ボンズで野球をしています。雫石にプロ野球チームを呼べる球場とまでは言いませんが、雨や冬でも練習できるような室内練習場やバッティングセンターが町内にあるとうれしいなと思います。

今月の表紙

雫石町柔道スポーツ少年団
代表：山崎　忍さん

代表の山崎　忍さん
（嘗宿行政区）

毎週月・水曜日に町営体育館で練習しているが、撮影は新築した雫石中学校武道場を特別に借り、小学生以下の団員（4 歳男子 4 人、小 3 女子 3 人）で行った。

代表の山崎さんは「今はやんちゃな子どもたちだが、柔道を続けることで忍耐力をつけてほしい。」と話す。コーチの久慈行治さん（中町三行政区）とともに長い目で指導している。

中学生のたくましい姿を横目に少し緊張気味の少年少女たち。将来この武道場で元気に汗を流してほしいと願う。

入団等のお問い合わせは雫石町体育協会スポーツ少年団担当（電話 019-692-1644）まで。

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（4 月～ 6 月）】

月	葬祭費		お祝い、会費	
4 月	0 件	0 円	17 件	83,000 円
5 月	0 件	0 円	5 件	17,000 円
6 月	0 件	0 円	8 件	35,500 円
小計	0 件	0 円	30 件	135,500 円

※議会の動きは HP に掲載しています。

■ 編集デスク

先日、前回号の表紙で紹介しました、野球スポーツ少年団の町春季大会が町内 4 チーム参加のもと開催されました。優勝は安庭ブルーサンダース、準優勝は雫石ダイナミックスでした。おめでとうございます。

この大会では毎年メインの部と 6 年生を除いた育成の部がおこなわれていましたが、今年は育成の部で 3 チームが選手不足のためチームが組めず、4 チームが合同しての交流試合となりました。

「議会だより」ではシリーズで各スポーツ少年団を紹介していますが、問い合わせ先を載せていますので興味のある方は連絡してみて下さい。

（編集副委員長：横手寿明）

しずくいし議会だより●平成29年（2017年）7月13日　第102号　発行/岩手県雫石町議会
〒020-0595　岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1
☎019-692-6415　FAX019-692-2828　ホームページ :http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/